

# 「人財が宝」みんなでつくる宇部SDGs推進事業～「共存同栄・協同一致」の更なる進化～

自治体名：山口県宇部市（2018年度選定）

<h2>1. 地域の特徴と課題及び目標</h2>	<p>本州西端の山口県の南西部に位置する宇部市は、明治期以降に石炭産業の振興により急速に発展し、ばいじん公害等の社会問題を「宇部方式」と言われる「産・官・学・民」連携により克服してきた。現在、人口減少や超高齢化社会による人材不足や産業規模の縮小が課題となっているが、地域に受け継がれてきた「共存同栄・協同一致」の精神を基に、多様な主体と連携し、地域の「人財」育成・活躍推進を図るとともに、IT・IoTを有効に活用して、産業や地域づくりに展開していくことで、持続可能なまちづくりを目指す。</p>	<h2>2. 関連するゴール</h2>	
<h2>3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)</h2>	<p>高度化したテクノロジーを活用して、地域内産業においてイノベーション創出を進めるとともに、起業・創業の場づくりを行う。また、すべての子どもたちが希望を持ちチャレンジできるよう支援を行うとともに、誰もが健やかで安心していきいきと暮らせるまちづくりを進める。</p>		
<h2>4. 自治体SDGs推進等に向けた取組</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>「SDGs推進センター」を推進のためのプラットフォームとして、「うべ産業共創イノベーションセンター」をはじめ、様々なステークホルダーとの「共創」により、様々な社会的課題の解決、事業化・創業支援等を行うとともに、市民や企業へのSDGs普及・啓発に取り組むことによりSDGs人材の育成を推進する。</li> <li>「せかい！動物かんきょう会議」の実施や、中・高校生への探究学習の支援を行うことにより、将来のSDGs人材の育成に取り組む。</li> </ul>	<h2>6. 取組成果</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成長産業の創出に向けて、これまでに成長段階に応じた各種プロジェクトの支援を行った結果、28件のプロジェクトが立ち上がった。（2022年度～2023年度）             <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタートアッププロジェクト（創業段階）3件 ・イノベーションプロジェクト（研究開発段階）14件</li> <li>・パイロットプロジェクト（実証段階） 11件</li> </ul> </li> <li>■ 「宇部市SDGs私たちの未来共創補助金」の活用により、5つの市民プロジェクトが立ち上がった。</li> <li>■ 企業でのSDGs推進を図るため、「宇部市SDGs未来共創企業登録制度」を創設し募集した結果、プロトタイプとして11企業が目標を掲げて登録した。</li> <li>■ 「せかい！動物かんきょう会議」の屋内プログラムについては、2018年の開始以降、延べ63校、2,523人の児童・生徒が参加している。</li> <li>■ 市民向け出前講座や研修会、学校からの探究学習の支援要請に対応し、SDGsの普及啓発、人材育成を進めた。（2018～2023年度累計 117回実施 5,980人参加）</li> </ul>		
<h2>5. 取組推進の工夫</h2> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々なステークホルダーの連携による、地域課題を解決するための「うべ・未来共創プラットフォーム」の構築や、次世代技術関連産業の創出・育成・誘致に取り組む「宇部市成長産業推進協議会」等を設置することにより、「共創」による持続可能なまちづくりを進める。</li> <li>・SDGs達成に向けて、「SDGs私たちの未来共創補助金」により市民プロジェクトを促進するとともに、SDGsフレンズ宣言制度に加えて、企業向けの「SDGs未来共創企業登録制度」の推進により、企業活動の付加価値を高めていく。</li> </ul>	<h2>7. 今後の展開策</h2> <p>宇部市の経済をけん引する産業分野での人材不足、また、ここ数年続いた新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の交流機会が大幅に減少するとともに、消費も大幅に落ち込んでいる。そのため、第3期計画に向けては、課題解決に当たり、「共創」による多様な主体による連携と、大学や研究機関等が集積している利点を活かした人材の育成・活躍の促進を図るとともに、産業や地域づくりにデジタルによるイノベーションを活かすことで「持続可能なまちづくり」を進めていく。</p>		
<h2>8. 他地域への展開状況（普及効果）</h2>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「せかい！動物かんきょう会議」は、宇部モデルとして市外にも展開しており、静岡・奈良・札幌においては宇部のインストラクターを派遣し、インストラクター研修を行うなど、他地域との交流・連携によるSDGs人材の育成にも取り組んでいる。</li> <li>・海外展開としては、これまでミャンマー、タイ、インド、モンゴル、インドネシアの子どもたちとのオンラインによる交流授業を実施した。</li> </ul>		

# SDGs未来都市進捗状況結果報告シート

2018年度選定

山口県宇部市

2024年9月

SDGs未来都市計画名

「人財が宝」みんなで作る宇部SDGs推進事業～「共存同栄・協同一致」の更なる進化～

## 山口県宇部市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

## (1) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第3期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	事業化・創業実現件数（累計）【8.2,8.3,8.5,8.9】	2020年3月 90 件	2023年 165 件	2030年 390 件	25%	2023年の目標が達成度ができていないため、第3期に向けて、成長が見込める分野での事業化を積極的に促進していくことで目標達成を図る。
2	多様な働き方確保支援センターにおける就職マッチング件数（累計）【8.2,8.3,8.5,8.9】	2020年3月 87 件	2023年 216 件	2030年 360 件	47%	順調に推移。今後は、起業創業や事業所等の誘致により魅力ある雇用を創出し、新たな就職につなげていく。
3	観光客数（万人/年）【8.2,8.3,8.5,8.9】	2020年3月 182 万人	2023年 172 万人	2030年 230 万人	-21%	目標達成度が低いため、引き続き第3期計画で「まちじゅうエヴァンゲリオン」をはじめとした本市ならではの観光資源を活用し、インバウンド誘客も含めた観光産業を推進することで目標達成を図る予定。
4	ICT・IoTなどの新技術の活用・導入件数（累計）【9.b】	2020年3月 63 件	2023年 172 件	2030年 320 件	42%	順調に推移。第3期に向けては、中小企業のDX化の推進により、ICT・IoT技術の導入を図る。
5	将来の夢や目標を持っている子どもの割合（中学3年生）【1.2,1.4】	2020年3月 47.1 %	2023年 42.9 %	2030年 61.8 %	-29%	目標達成度が低いため、第3期計画では子どもの貧困対策の更なる充実を図り、目標達成へ向け取組の推進を図る予定。
6	地域福祉総合センター「福祉なんでも相談窓口」の設置数（累計）【3.8】	2020年3月 15 箇所	2023年 15 箇所	2030年 15 箇所	100%	目標を達成しているため、3期においては、身近に相談できる場所として、「ご近所ふれあいサロン 個所数」にKPIをシフトしていく。
7	全国学力・学習状況調査結果（全国を100とした指標）【4.1,4.4,4.7】	2020年3月 102.8 小学校	2023年 97.2 小学校	2030年 103.0 小学校	-2800%	目標達成度が低いため、第3期計画では、学力定着・課題解決のため、個の課題に応じた学習の時間の確保するとともに、AIドリルの活用を促進することなどで達成へ向けた推進を図る。（計算式：現97.2/目103）
7	全国学力・学習状況調査結果（全国を100とした指標）【4.1,4.4,4.7】	2020年3月 101.8 中学校	2023年 99.3 中学校	2030年 105.0 中学校	-78%	目標達成度が低いため、第3期計画では、学力定着・課題解決のため、個の課題に応じた学習の時間の確保するとともに、AIドリルの活用を促進することなどで達成へ向けた推進を図る。（計算式：現99.3/目105）
8	女性活躍推進企業認証数（累計）【5.1,5.2,5.5,5.b,5.c】	2020年3月 132 社	2023年 217 社	2030年 400 社	32%	2030年に向けて順調に推移。第3期計画では企業訪問の強化を行い取組達成へ向け推進を図る予定。
9	障害がある人にとって宇部市が暮らしやすいまちだと思う人の割合【10.2】	2020年3月 37.8 %	2023年 51.8 %	2030年 90.0 %	27%	目標達成度が低いため、第3期計画では障害者理解のための啓発を行い取組達成へ向け推進を図る予定
10	中心市街地の休日1日当たりの通行者数【11.2,11.3,11.a】	2020年3月 11,011 人	2023年 9,207 人	2030年 16,700 人	-32%	目標達成度は低いが、2026年にはにぎわい交流拠点の完成・ウォークアブル整備の完了による通行者増加が見込まれる。引き続き目標達成に向け各取組を推進していく。
11	地域計画に基づく新たな取組支援数（累計）【11.2,11.3,11.a】	2020年3月 41 件	2023年 178 件	2030年 138 件	141%	目標を達成。今後も取り組みを推進し、第3期に向けて目標値を見直していく。」

## 山口県宇部市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2023年	2030年（目標値）	達成度 （%）	第3期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
12	国際環境協力における研修生受入数（累計）【6.5】	2020年3月 725 人	2023年 1,529 人	2030年 1,020 人	273%	コロナ禍で2020～2022年度は、リモート研修を実施してカウントしたため、実績値が大幅に増加した。2023年度以降は再び来日研修となったため、大幅な伸びは難しい。
13	公共施設への太陽光発電設備導入箇所数（累計）【7.2】	2020年3月 42 箇所	2023年 44 箇所	2030年 50 箇所	25%	順調に推移しており、引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
14	バイオマスを活用した事業創出件数（累計）【9.4】	2020年3月 6 件	2023年 7 件	2030年 16 件	10%	竹の利活用以外は事業化が進んでいないのが現状。第3期に向けては、KPIの見直しを含めて検討を進めたい。
15	中心市街地の緑化・花壇等整備面積（累計）【11.7】	2020年3月 1,951 m <sup>2</sup>	2023年 1,782 m <sup>2</sup>	2030年 7,300 m <sup>2</sup>	-3%	「宇部市樹木管理指針」において量的整備から質的向上への緑化政策転換が図られている。しかし、花壇の維持管理コストの増加、持続可能なボランティアの維持管理体制の構築等の課題もあるため、第3期に向けては、ウォークブル事業に合わせ、より質の高い整備に取り組むとともに、花壇の維持管理体制の構築と併せ、計画全体の見直しも進めていく。
16	1人1日あたりのごみ排出量【12.5,13.3】	2020年3月 994 g	2023年 939 g	2030年 800 g	28%	本市のごみの総排出量は年々減少傾向である。第3期計画では、宇部市一般廃棄物処理基本計画における目標値(854g)をKPIとして設定する。
17	アクティビティおの（自然環境教育拠点施設）で体験学習する人数（人/年）【14.1,15.4】	2020年3月 7,775 人/年	2023年 2,101 人/年	2030年 10,000 人/年	-255%	コロナ禍も一段落したが、未だ回復には至らず利用者数は伸び悩んでいる。第3期に向けて、従来の体験型学習の利用について新たな利用者にも働きかけるとともに、魅力ある体験型学習の企画・実施に取り組んでいく。

## (2) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2023年 実績	2023年 目標値	達成度 （%）	第3期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	事業化・創業実現件数（累計）	2020年3月 90 件	2023年 165 件	2023年 190 件	75%	目標が達成できていないため、第3期に向けて、成長が見込める分野での事業化を積極的に促進していくことで目標達成を図る。
2	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	新規農林業就業者数（累計）	2020年3月 42 人	2023年 60 人	2023年 58 人	113%	順調に進捗しており、引き続き、第3期計画で進捗を確認していく。
3	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	多様な働き方確保支援センターにおける就職マッチング件数（累計）	2020年3月 87 件	2023年 216 件	2023年 180 件	139%	順調に推移。今後は、起業創業や事業所等の誘致により魅力ある雇用を創出し、新たな就職につなげていく。
4	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	ICT・IoT活用による社会的課題の解決件数（累計）	2020年3月 17 件	2023年 46 件	2023年 39 件	132%	順調に進捗しており、引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
5	ICT/地域イノベーション、働き方改革の推進	ICT・IoTなどの新技術の活用・導入件数（累計）	2020年3月 63 件	2023年 172 件	2023年 158 件	115%	順調に推移。第3期に向けては、中小企業のDX化の推進により、ICT・IoT技術の導入を図る。

## 山口県宇部市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)	第3期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
6	観光産業の推進	観光客数（万人/年）	2020年3月 182 万人/年	2023年 172 万人/年	2023年 205 万人/年	-43%	目標達成度が低いため、引き続き第3期計画で「まちじゅうエヴァンゲリオン」をはじめとした本市ならではの観光資源を活用し、インバウンド誘客も含めた観光産業を推進することで目標達成を図る予定。
7	観光産業の推進	外国人観光客数（千人/年）	2020年3月 11.0 千人/年	2023年 30 千人/年	2023年 22.5 千人/年	165%	目標が達成できており、第3期計画ではKPIを観光客数に一本化して更なる推進を図る予定。
8	観光産業の推進	本市における観光客の旅行消費額（億円/年）	2020年3月 123 億円/年	2023年 133 億円/年	2023年 135 億円/年	83%	順調に進捗しており、引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
9	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	地域福祉総合センター「なんでも相談窓口」の設置数（累計）	2020年3月 15 箇所	2023年 15 箇所	2023年 15 箇所	100%	目標を達成しているため、3期においては、身近に相談できる場所として、「ご近所ふれあいサロン個所数」にKPIをシフトしていく。
10	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	ご近所ふれあいサロン箇所数（累計）	2020年3月 207 箇所	2023年 220 箇所	2023年 220 箇所	100%	目標に達しているため、第3期ではKPIを更新し、より一層の推進を図る。
11	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	地域計画に基づく新たな取組支援数（累計）	2020年3月 41 件	2023年 178 件	2023年 132 件	151%	目標を達成。今後も取り組みを推進し、第3期に向けて目標値を見直していく。」
12	地域支えあい包括ケアシステムと連携したコンパクトシティの推進	地域内交通利用者数（人/年）	2020年3月 9,785 人/年	2023年 10,863 人/年	2023年 13,100 人/年	33%	目標値には達していないが、利用者数は増加傾向となっている。第3期計画では目標値を12,000人/年に変更し、地域内交通の維持と利用促進を継続していく予定。
13	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	課題の解決に向けて、自分で考え主体的に取り組もうとする児童生徒の割合	2020年3月 32.8 小学校	2023年 29.9 小学校	2023年 4.0 全国平均プラス以上	86.7%	目標値に対して-4.6となっており、目標を達成できていないため、第3期計画では、探究的な学習の充実を図ることで、達成に向けた推進を図る予定。（計算式：現29.9/目34.5）
13	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	課題の解決に向けて、自分で考え主体的に取り組もうとする児童生徒の割合	2020年3月 39.8 中学校	2023年 33 中学校	2023年 4.0 全国平均プラス以上	96.8%	全国平均値に対して-1.1となっており、目標を達成できていないため、第3期計画では、探究的な学習の充実を図ることで、達成に向けた推進を図る予定。（計算式：現33.3/目34.4）
14	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	中学校卒業段階で英検3級程度以上の英語力を身につけた生徒の割合	2020年3月 45.9 %	2023年 57.5 %	2023年 51.0 %	227%	順調に進捗しており、引き続き第3期計画で一層の推進を図る。
15	持続可能な開発を学ぶための教育、学習機会の推進	環境教育プログラム実施校数（累計）	2020年3月 7 校	2023年 19 校	2023年 16 校	133%	順調に進捗し目標達成したため、第3期計画では環境基本計画との整合性を取るため、KPIの見直しを検討。
16	若者・女性の活躍推進	高校生の市内就職割合	2020年3月 46.5 %	2023年 38.8 %	2023年 54.0 %	-103%	目標達成度が低いため、第3期計画では、更に取り組みを推進するとともに、2022年の実績値を基に、目標の下方修正を行うなど見直しを検討する。
17	若者・女性の活躍推進	「まちづくり」イベント・行事の企画・運営に参画した市民（高校生以上30歳未満）の人数	2020年3月 176 人	2023年 224 人	2023年 300 人	39%	達成度が低く、また、正確なKPIを把握することが困難を極めるため、第3期に向けてKPIの見直しを検討する。

## 山口県宇部市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)	第3期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
18	若者・女性の活躍推進	女性活躍推進企業認証数（累計）	2020年3月 132 社	2023年 217 社	2023年 230 社	87%	2030年に向けて順調に推移。第3期計画では企業訪問の強化を行い取組達成へ向け推進を図る予定。
19	若者・女性の活躍推進	女性職場環境改善件数（件/年）	2020年3月 9 件/年	2023年 17 件/年	2023年 10 件/年	800%	順調に進捗しており引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
20	共生社会ホストタウンの推進	障害がある人にとって宇部市が暮らしやすいまちだと思ふ人の割合	2020年3月 37.8 %	2023年 51.8 %	2023年 84.0 %	30%	目標達成度が低いため、第3期計画では障害者理解のための啓発を行い取組達成へ向け推進を図る予定
21	共生社会ホストタウンの推進	地域福祉総合センター「なんでも相談窓口」の設置数（累計）	2020年3月 15 箇所	2023年 15 箇所	2023年 15 箇所	100%	目標を達成しているため、3期においては、身近に相談できる場所として、「ご近所ふれあいサロン個所数」にKPIをシフトしていく。
22	共生社会ホストタウンの推進	公共（学校施設は除く）・民間施設のバリアフリー化工事件数（件/年）	2020年3月 37 件/年	2023年 25 件/年	2023年 44 件/年	-171%	件数が減少傾向にあるため、バリアフリー化改修助成金について、特に利用の無い団体に対し、助成金のメリット等について周知・啓発を積極的に進め、伴走支援を行っていく。
23	子どもの貧困対策、地域の見守り・支え合いの推進	将来の夢や目標を持っている子どもの割合（小学6年生）	2020年3月 67.0 %	2023年 59.4 %	2023年 80.0 %	-58%	目標達成度が低いため、第3期計画では子どもの貧困対策の更なる充実を図り、目標達成へ向け取組の推進を図る予定。
24	子どもの貧困対策、地域の見守り・支え合いの推進	将来の夢や目標を持っている子どもの割合（中学3年生）	2020年3月 47.1 %	2023年 42.9 %	2023年 56.5 %	-45%	目標達成度が低いため、第3期計画では子どもの貧困対策の更なる充実を図り、目標達成へ向け取組の推進を図る予定。
25	子どもの貧困対策、地域の見守り・支え合いの推進	ご近所ふれあいサロン箇所数（累計）	2020年3月 207 箇所	2023年 220 箇所	2023年 220 箇所	100%	目標に達しているため、第3期ではKPIを更新し、より一層の推進を図る。
26	ガーデンシティの推進	中心市街地の緑化・花壇等整備面積（累計）	2020年3月 1,951 m <sup>2</sup>	2023年 1,782 m <sup>2</sup>	2023年 2,300 m <sup>2</sup>	-48%	「宇部市樹木管理指針」において量的整備から質的向上への緑化政策転換が図られている。しかしながら、花壇の維持管理コストの増加、持続可能なボランティアの維持管理体制の構築等の課題もあるため、第3期に向けては、ウォークアブル事業に合わせ、より質の高い整備に取り組むとともに、花壇の維持管理体制の構築と併せ、計画全体の見直しを進めていく。
27	ガーデンシティの推進	花・緑と調和した彫刻設置計画の進捗率	2020年3月 66.7 %	2023年 77.8 %	2023年 100.0 %	33%	他のまちなか整備事業の優先的な進捗のため、設置が大幅に遅れている。第3期に向けて見直しを検討する。
28	地域エネルギー・バイオマス産業都市の推進	公共施設への太陽光発電設備の導入箇所数（累計）	2020年3月 42 箇所	2023年 44 箇所	2023年 47 箇所	40%	第2期では達成できていないが、第3期に向けて、第三次宇部市環境基本計画と整合性を取りながら進めていく。
29	地域エネルギー・バイオマス産業都市の推進	エネルギー利用のスマート化実証事業数（累計）	2020年3月 3 件	2023年 4 件	2023年 7 件	25%	第2期では達成できていないが、第3期に向けて、第三次宇部市環境基本計画と整合性を取りながら進めていく。

## 山口県宇部市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

No	取組名	指標名	当初値	2023年実績	2023年目標値	達成度(%)	第3期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
30	環境保全対策の推進	国際環境協力における研修生受入数（累計）	2020年3月 725 人	2023年 1,529 人	2023年 780 人	1462%	コロナ禍においては、リモート研修を実施してカウントしたため、実績値が大幅に増加した。2023年度以降は再び来日研修となる。
31	環境保全対策の推進	1人1日当たりのごみ排出量	2020年3月 994 g	2023年 939 g	2023年 840 g	36%	本市のごみの総排出量は年々減少傾向である。第3期計画では、宇部市一般廃棄物処理基本計画における目標値(854g)をKPIとして設定する。
32	環境保全対策の推進	民生部門からの温室効果ガス排出量（千トン-CO2/年）	2020年3月 601 千トン	2023年 470 千トン	2023年 491 千トン	119%	順調に進捗し目標を達成。引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
33	環境保全対策の推進	汚水処理人口普及率	2020年3月 91.7 %	2023年 93.6 %	2023年 93.5 %	106%	順調に進捗し目標を達成。引き続き第3期計画で進捗を確認していく。
34	環境保全対策の推進	新規農林業就業者数（累計）	2020年3月 42 人	2023年 60 人	2023年 58 人	113%	順調に進捗しており、引き続き、第3期計画で進捗を確認していく。

## 山口県宇部市 第2期SDGs未来都市計画：計画期間2021年～2023年

## (3) 第2期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

## ●特筆すべき事業内容

・1-3、1-17、2-6\_コロナ禍も終息しインバウンドも伸び、人の動きも戻りつつあるが、観光客数や旅行者消費額のほか、公共施設であるアクトビレッジおのの利用者数も伸び悩んでいる。  
 ・1-10、1-15、2-26\_「中心市街地の休日1日当たりの通行者数」、「中心市街地の緑化・花壇等整備面積（累計）」、「花・緑と調和した彫刻設置計画の進捗率」については、ウォークブル事業、市役所第2期庁舎建設工事、まちなか賑わい拠点事業などのまちなか整備事業の影響を受けており、第3期の計画まで影響が見込まれるので、一部見直しの必要もある。そのため、中心市街地においては、産学公民の連携により、継続的にキッチンカーイベントなど多くの賑わい創出のためのソフト事業を進めることにより多くの来場者を呼び込み、にぎわい創出に貢献している。

## ●成果

・1-8、2-18、2-19\_女性活躍推進企業認証数（累計）や女性職場環境改善件数（件/年）が順調に推移していることは、市内企業にSDGsを含めてジェンダー平等の意識が浸透しつつある証であると思われる。  
 ・1-4、2-4、2-5\_成長産業などの創出に積極的に取り組んだことから、ICT・IoT活用による社会的課題の解決件数（累計）や新技術の活用・導入件数（累計）が順調に増えている。  
 ・1-11、2-11\_将来の担い手の創出に向けて、毎週水曜日を「地域活動の日」に設定するとともに、地域おうえんサイト「チイキのチカラ」を創設したことから、各地区での地域貢献への意識の高まりにより取組支援件数の増加につながっている。

## ●課題

・1-7\_「全国学力・学習状況調査」においては、調査対象科目のうち全国平均を下回る科目が多いことから、「学力向上推進協議会」等において、調査結果や児童生徒の学習課題をより綿密に分析し、授業改善を進めるとともに、研修会等を通じて教員の授業実践力も高める必要がある。  
 ・2-22\_関係団体等に対し助成金のメリットが十分に伝わっていないことも考えられるが、施設のバリアフリー化が進むと、達成度の数値が上がりやすくなることも懸念されるため、助成制度の内容や情報発信方法の検討と併せて指標自体の見直しも必要と思われる。  
 ・2-23、2-24\_将来の夢や目標を持っている子どもの割合（小学6年生・中学3年生）に成果が出ていないことから、「子どもの貧困対策推進計画」に基づき、地域において学習支援や居場所づくり、生活基盤づくりを進めることにより、「すべての子どもが夢をあきらめない」まちづくりを進めることが必要。  
 ・2-16\_若者の人口流出は本市にとっても喫緊の課題であり、地元企業とのマッチング事業なども取り組まれているが、「高校生の市内就職割合」に成果が出ていないことから、何よりも若者にとって魅力ある市内企業の創出が急務である。  
 ・1-4、2-4、2-5、2-16\_「SDGsネイティブ」と言われる今の高校生・大学生はSDGsに対する意識も高く、社会的課題に取り組む成長産業や働き方改革に取り組む企業などにも関心も深いと思われるので、地元企業が次世代技術や働きやす職場環境づくりを進めることは、経済・社会・環境の好循環を生み出す可能性がある。そのためにも様々な主体の連携が欠かせない。

## ●今後の展望

・1-3、2-6\_観光客に関しては、インバウンド増加を背景に、「まちじゅうエヴァンゲリオン」や「彫刻」、「食」など、本市ならではの観光資源を活用し、観光産業を推進していく。  
 ・1-17\_また、アクトビレッジおのでの体験学習については、これまでの体験学習の企画内容を見直すとともに、新たな利用者確保に向けて効果的な情報発信についても取り組んでいく。  
 ・1-7\_学力向上に関しては、小中一貫教育カリキュラムの活用など9年間の指導体制を視野に入れながら、「個別最適な学び」と「学び合い」を一体的に推進することにより、児童生徒の学習意欲を高め、確実な学力向上を図っていく。  
 ・2-22\_特に助成金の利用の無い団体に対しては、助成金のメリット等について周知・啓発を積極的に進めるなど、ニーズに応じて伴走的に支援を行っていく。  
 ・1-15、2-26\_本市の緑化政策に関しては、「宇部市樹木管理指針」において量的整備から質的向上への政策転換が図られている。しかしながら、花壇の維持管理コストの増加、持続可能なボランティアの維持管理体制の構築等の課題もあるため、第3期に向けては、中心市街地において鋭意進められているウォークブル事業に合わせ、より質の高い緑化・花壇等整備に取り組むとともに、花壇の維持管理体制の構築と併せ、計画全体の見直しも進めていく。  
 ・ALL\_市内・市外に関わらず、企業・団体においては、課題意識の高まりから、包括連携協定が進んでおり、また、市民を始め様々なステークホルダーにおいて、SDGsに対する意識も高まりつつある。そうした意識の高まりの中で、SDGs企業登録制度やSDGs補助金などの活用を通じて、新たな付加価値を生み出すことで、仕事と人の好循環を生み出すことができると見込んでいる。  
 ・ALL\_市役所内部においては、今一度、この第2期SDGs未来都市計画の進捗・成果を十分に検証するとともに、SDGs未来都市の「あるべき姿」を再認識し、他部署の課題も共有して効果的な施策を展開する必要がある。そのため、第3期に向けては、本市が目指す「持続可能なまちづくり」に関しては、行政だけでなく、様々なステークホルダーがまちづくりに参画し、これまでの「協働」を基本としつつ、「対等」で、かつ目標設定の段階から連携し、地域の課題を共有するとともに、対策を考え課題解決に取り組んで行く「共創」の考えを基本に、経済・社会・環境の3側面を調和させたまちづくりに取り組んでいく。

## (4) 有識者からの取組に対する評価

・産業振興プログラム、人財育成事業、地域コミュニティの連携事業を土台として、地域に受け継がれてきた「共存同栄・協同一致」の精神を基調に、「共創」による多様な主体の連携を次の計画の土台としたことは評価できる。  
 ・宇部市の課題を解決すべく現実的な方策を立て、KPIの進捗管理を計画的に行って、殊に創業、若い世代の人材育成において着実に成果をあげている。産官学民の連携を強化し、さらなる進展を期待する。